

平成28年9月期 中間決算の概要

数字は原則として単体ベース、単位未満切捨て



ウォーム・マネー

WARM



MONEY

福島銀行

平成28年9月期 中間決算の概要

(1) 決算ダイジェスト	・・・ p. 2
(2) 損益状況	・・・ p. 3
(3) 預金（NCDを含む）・預かり資産	・・・ p. 4
(4) 預かり資産	・・・ p. 5
(5) 貸 出	・・・ p. 6
(6) 有価証券	・・・ p. 7
(7) 収益性	・・・ p. 8
(8) 与信関連費用	・・・ p. 9
(9) 健全性	・・・ p. 10
(10) 主要な取り組み	・・・ p. 11
(11) 平成28年度通期（29年3月期）の決算予想	・・・ p. 13
(12) 当行のプロフィール	・・・ p. 14

(1) 決算ダイジェスト

損益状況

- 経常収益 68億円（前年同期比 ▲ 13億円減収）
- 経常利益 11億円（前年同期比 1億円増益）
- 中間純利益 9億円（前年同期比 3億円増益）

財務状況

- 自己資本比率 10.81%（バーゼル 3国内基準:単体）
- 金融再生法開示債権比率 1.99%（3月末比 0.14%ポイント改善）

主要な取組み

- クイック窓口サービスを開始(4月1日)。
- 相続預金払戻しサービス「これで安心」の取り扱いを開始(9月12日)。
- 10大イベントを中心とした社会貢献活動への積極的取り組み。
- 女性の活躍推進企業「えるぼし」の認定取得。

(単位: 億円)

(2) 損益状況

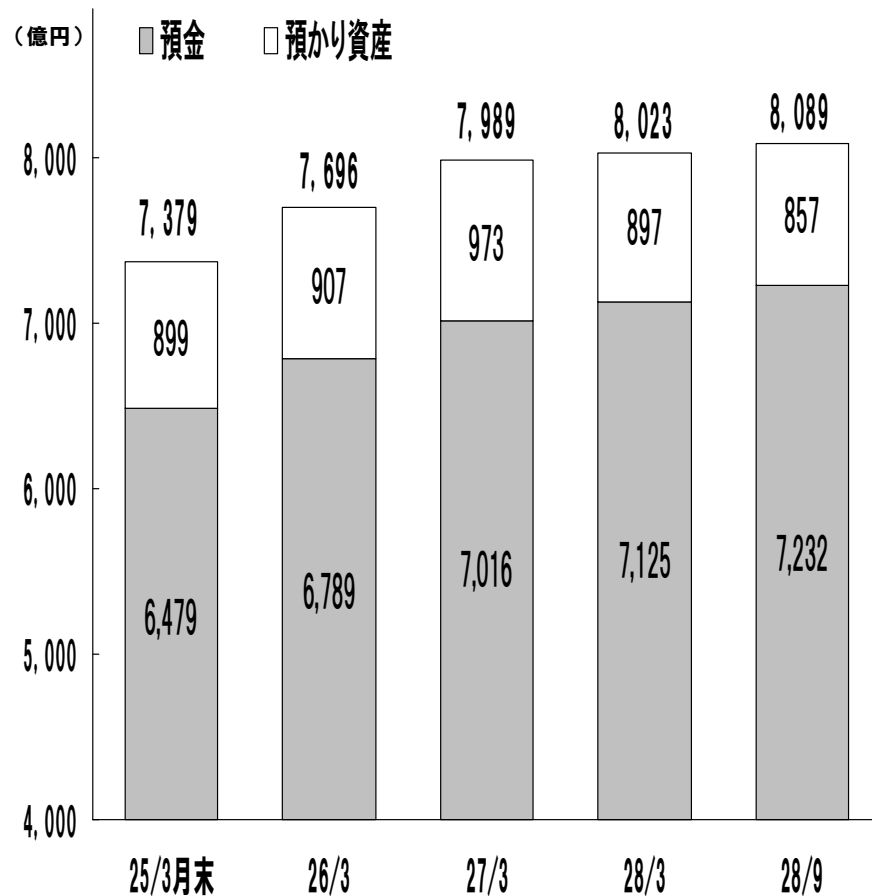
	27/9月期	28/9月期	前年同期比
経常収益 (①+⑦)	82	68	▲ 13
業務収益 ①	69	60	▲ 8
貸出金利息	36	33	▲ 2
有価証券利息配当金	15	8	▲ 7
受入手数料	9	8	▲ 1
国債等債券売却益(債券関係益) ②	7	5	▲ 1
業務費用 ③	66	56	▲ 10
預金利息	2	1	▲ 0
支払手数料	5	5	0
一般貸倒引当金繰入 ④	▲ 0	—	0
国債等債券償還損(債券関係損) ⑤	14	4	▲ 9
営業経費	45	43	▲ 1
人件費	21	20	▲ 0
物件費	20	20	▲ 0
業務純益 ⑥ (①-③)	2	4	1
コア業務純益 { ⑥-(②-⑤)+④ }	8	3	▲ 5
臨時収益 ⑦	12	7	▲ 4
株式等売却益	7	1	▲ 6
償却債権取立益	1	1	0
貸倒引当金戻入益	—	2	2
臨時費用 ⑧	5	0	▲ 4
個別引当金繰入額	3	—	▲ 3
臨時損益 ⑨ (⑦-⑧)	7	6	▲ 0
経常利益 ⑩ (⑥+⑨)	10	11	1
特別損益 ⑪	▲ 1	0	▲ 1
法人税等 ⑫	2	1	▲ 0
中間純利益 (⑩-⑪-⑫)	6	9	3
与信関連費用	3	▲ 1	▲ 5

- 経常収益は 68 億円。前年同期比▲ 13 億円の減収。
 - 貸出金利の低下から貸出金利息収入が減少(同▲ 2 億円)。
 - 運用額の減少と有価証券運用環境の厳しさから、有価証券利息配当金が減少(同▲ 7 億円)。
 - 市況低迷による持ち合い株式売却抑制により株式等売却益が減少(同▲ 6 億円)。
- 業務純益は 4 億円。同 1 億円の増益。
 - 貸出金利息や有価証券利息配当金の減少により業務収益が減少(同▲ 8 億円)。
 - 一方で、国債等債券償還損の大幅減少(投信解約損の減少が主因)、営業経費の圧縮により、業務費用も大幅に減少(同▲ 10 億円)。
- 臨時損益は 6 億円、同▲ 0 億円(▲ 74 百万円)の減少。
 - 臨時収益が株式等売却益の減少(同▲ 6 億円)から同▲ 4 億円減少した一方で、個別引当金繰入額の減少を主因に臨時費用も同▲ 4 億円減少したため。
- この結果、経常利益は 11 億円。同 1 億円の増益。中間純利益は 9 億円。同 3 億円の増益。

(3) 預金(NCDを含む)・預かり資産

- 預金(NCDを含む)と預かり資産を合計した残高は 8,089億円。28年3月末比 + 65億円(+0.8%)の増加。
- 預金(NCDを含む)残高は 7,232億円。賠償金流入の減少や定期預金の金利引き下げ(28年4月、例えば1年物定期預金 0.025% ⇒ 0.010%)などにより、個人預金は同▲ 30億円の減少。一方で、法人(同+ 61億円)および地公体預金(同+ 75億円)の増加から、預金全体では同+106億円(+1.4%)の増加。

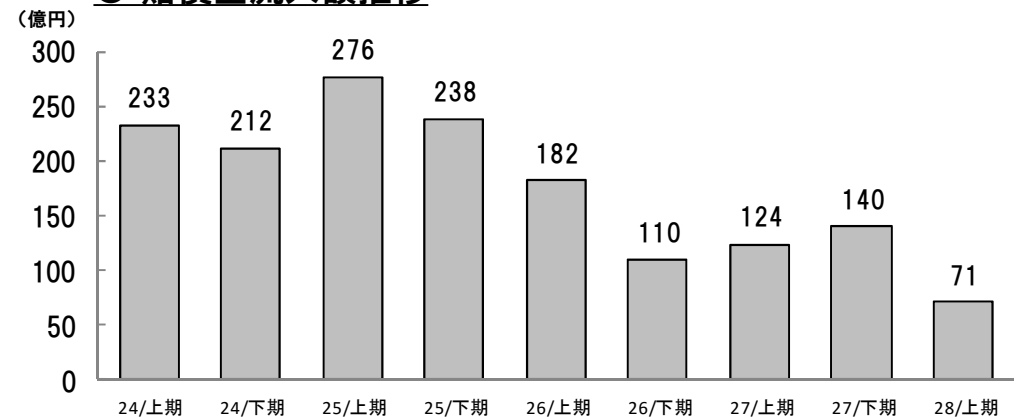
○ 預金+預かり資産残高推移



(億円)

	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比	前年同期比
預 金	6,479	6,789	7,016	7,125	7,232	106	▲ 37
うち 個人	4,923	5,080	5,158	5,220	5,190	▲ 30	▲ 2
法人	1,126	1,259	1,327	1,380	1,441	61	9
地公体	373	403	484	484	559	75	▲ 39
預かり資産	899	907	973	897	857	▲ 40	▲ 40
合 計	7,379	7,696	7,989	8,023	8,089	65	▲ 77

○ 賠償金流入額推移



(4) 預かり資産

- 預かり資産の販売額は 90億円。米国の利上げ先送りや英国のEU離脱、新興国経済の先行き不安などから経済の先行き不透明感が強まったことによる投信の販売低迷を主因に前年同期比 ▲36億円減少。
- 預かり資産の残高は 857億円。投信、保険の販売低迷に加え、円高進行等から投信の基準価格が低下したことを主因に、28年 3月末比▲ 40億円(同▲ 4.5%)減少。
- 預かり資産関連手数料は、投信の販売減少や残高減少から 318百万円。前年同期比▲ 119百万円減少。
- お客様に質の高い投資情報を提供するため「お金の活用セミナー」などを合計 100回開催。延べ1,052名が参加。
- ローンプラザ福島・郡山の名称を「ソリューションプラザ(SP)」に変更(28年10月)。土曜日に加え日曜日も営業。取扱業務も、住宅ローンに加えて「資産運用や事業に関する相談業務」を追加し、お客様の利便性を向上。

○ 預かり資産販売額推移

(億円)

	26/上期	26/下期	27/上期	27/下期	28/上期	前年同期比
投 信	98	117	91	66	67	▲ 24
うち インターネット販売	18	38	31	22	20	▲ 11
ネット販売の割合(%)	18.5%	32.7%	34.5%	33.4%	29.9%	▲4.6%
保 険	24	23	30	25	20	▲ 9
公共債	6	5	4	3	2	▲ 2
合 計	128	146	126	95	90	▲ 36

○ 預かり資産残高推移

(億円)

	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比	前年同期比
投 信	481	466	547	478	441	▲ 36	▲ 32
保 険	366	389	378	374	369	▲ 4	▲ 7
公共債	51	51	47	44	45	0	0
合 計	899	907	973	897	857	▲ 40	▲ 40

○ 預かり資産関連手数料推移

(百万円)

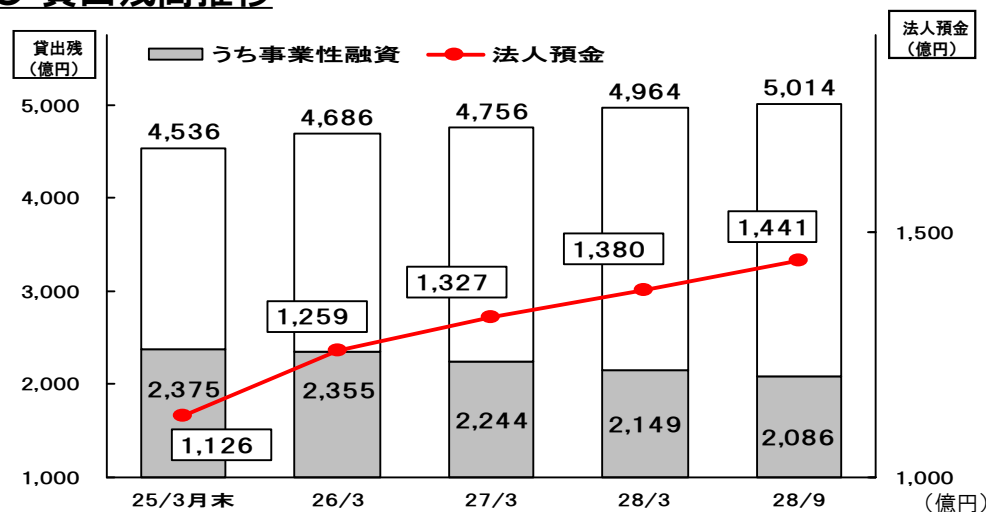
26/上期	26/下期	27/上期	27/下期	28/上期	前年同期比
406	499	438	331	318	▲ 119

(5) 貸 出

○ 貸出残高は 5,014億円。28年3月末比 + 50億円 (同+1.0%)の増加。期末としては、平成 13年 9月末以来の 5,000億円台乗せ。

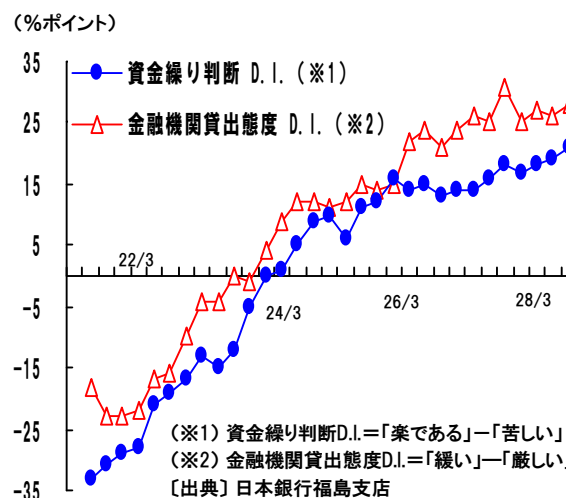
- 消費性貸出は同 + 48億円の増加。なかでも、消費者ローンは同 + 33億円の増加。コールセンターやネットを通じた販売が順調。
- 地公体向け貸出は同 + 49億円の増加。
- 事業性貸出は、同▲ 62億円の減少。地元企業の手許資金が引き続き潤沢で資金需要が伸び悩んでいることに加え、収益性の低い市場型貸出を抑制したことが主因。中小企業向け貸出比率は 86.8%に上昇。

○ 貸出残高推移

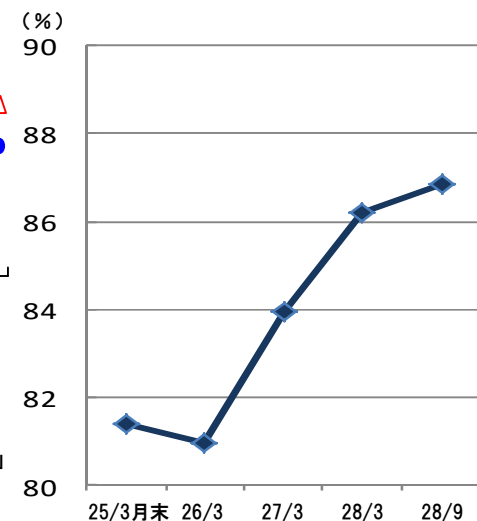


	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比	前年同期比
事業性	2,375	2,355	2,244	2,149	2,086	▲ 62	▲ 39
相対型	1,974	1,964	1,912	1,882	1,841	▲ 40	▲ 5
市場型	400	391	332	267	245	▲ 22	▲ 34
消費性	1,520	1,543	1,578	1,612	1,660	48	69
地公体	525	690	862	1,160	1,210	49	292
その他	116	95	70	41	56	15	25
合 計	4,536	4,686	4,756	4,964	5,014	50	348

○ 企業金融判断D.I. (全産業・福島県内)



○ 事業性融資に占める中小企業の割合



○ 消費性貸出残高推移

	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比	前年同期比
住宅ローン	1,391	1,400	1,414	1,389	1,404	14	3
消費者ローン	102	118	141	200	234	33	66
総合口座貸越	25	25	23	22	22	▲ 0	▲ 0
合 計	1,520	1,543	1,578	1,612	1,660	48	69

(6) 有価証券

- 有価証券の残高は 1,268億円。世界的な金利低下と円高を受けて債券(国内債、外債)や外債型投信への投資を抑制したため、28年 3月末比▲ 353億円(同▲ 21.8%)の減少。
- 有価証券利回りは 1.07%。有価証券運用環境が厳しく 27年度比▲ 0.39%ポイント低下(前年同期比では▲ 0.28%ポイント)。
- 債券のデュレーション(残存期間)は、2.1年に短期化。

○ 有価証券残高推移

(億円)

	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比	前年同期比
債券	1,972	2,092	1,763	1,163	816	▲ 346	▲ 502
うち国内債	1,818	1,948	1,673	1,110	768	▲ 341	▲ 485
うち外債	154	144	90	53	48	▲ 4	▲ 17
投資信託	60	53	523	400	402	2	▲ 42
うち外債型	48	49	382	179	159	▲ 19	▲ 122
うち株式型	12	4	127	172	145	▲ 26	2
うちその他	—	—	13	48	97	48	77
株式	59	62	75	57	48	▲ 9	▲ 24
その他	1	2	2	1	0	▲ 0	▲ 0
合計	2,094	2,210	2,365	1,621	1,268	▲ 353	▲ 570
評価損益	34	33	49	14	▲ 7	▲ 22	▲ 32

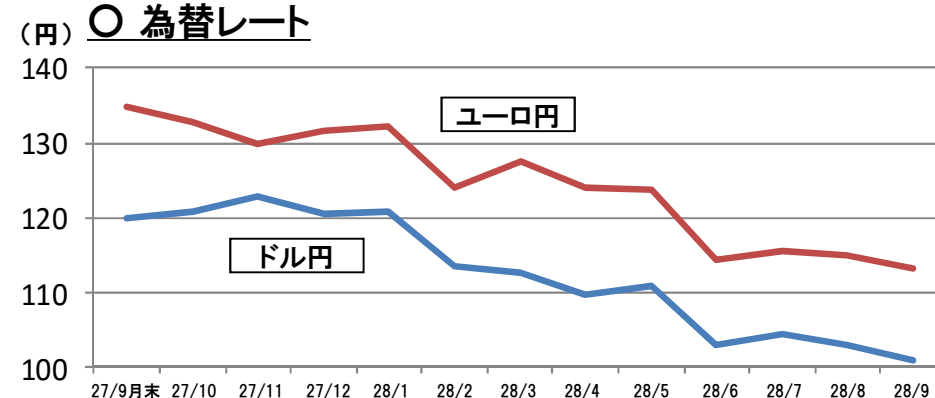
○ 有価証券利回り

	24年度	25年度	26年度	27年度	28/上期
有価証券利回り(%)	0.68	0.79	1.84	1.46	1.07

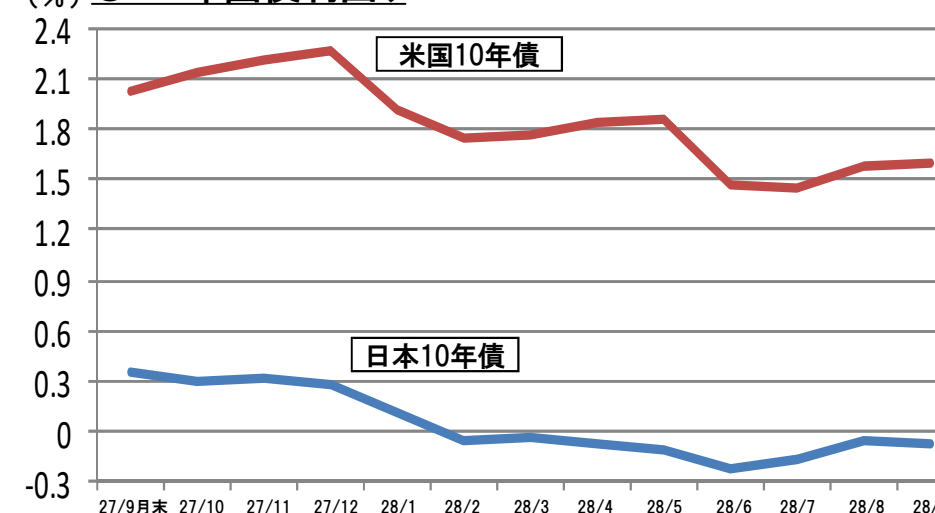
○ 債券のデュレーション

	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9
デュレーション(年)	4.6	3.9	3.0	2.6	2.1

○ 為替レート



○ 10年国債利回り



(7) 収益性

- 預貸金利鞘は、貸出金利回りの低下を主因に低下傾向を継続し、27年度比▲ 0.13%ポイント低下。前年同期比でも▲ 0.10%ポイント低下。
- 総資金利鞘は、貸出金利回りおよび有価証券運用利回りの低下から、27年度比▲ 0.16%ポイント低下。前年同期比でも▲ 0.16%ポイント低下。
- ROEおよびROAは、中間純利益の年換算が27年度に比べ減益になったため低下。OHRは、営業経費の圧縮によりわずかに改善。

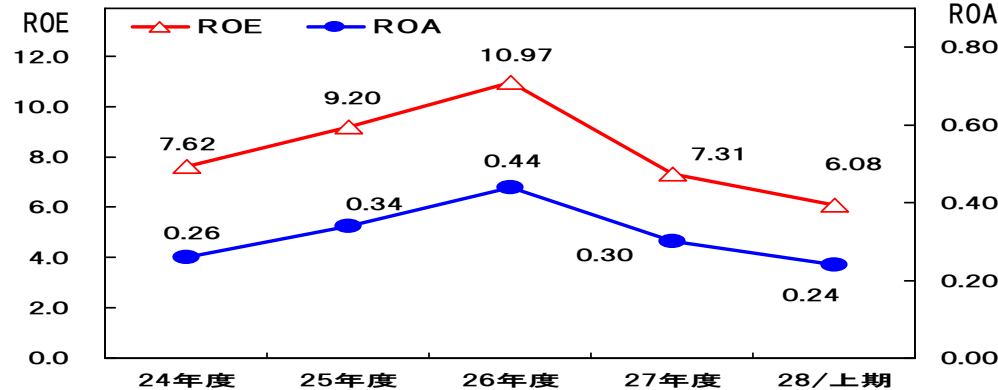
○ 総資金利鞘

(%)

		24年度	25年度	26年度	27/上期	27年度	28/上期	27年度比	前年同期比
貸出金利回り	A	1.88	1.76	1.63	1.54	1.53	1.38	▲ 0.15	▲ 0.16
資金運用利回り	B	1.46	1.41	1.63	1.39	1.35	1.17	▲ 0.18	▲ 0.22
預金債券等原価	C	1.29	1.29	1.29	1.32	1.28	1.26	▲ 0.02	▲ 0.06
資金調達原価	D	1.29	1.29	1.28	1.29	1.25	1.23	▲ 0.02	▲ 0.06
預貸金利鞘 (A - C)		0.59	0.47	0.34	0.22	0.25	0.12	▲ 0.13	▲ 0.10
総資金利鞘 (B - D)		0.17	0.12	0.35	0.10	0.10	▲ 0.06	▲ 0.16	▲ 0.16

○ ROE と ROA

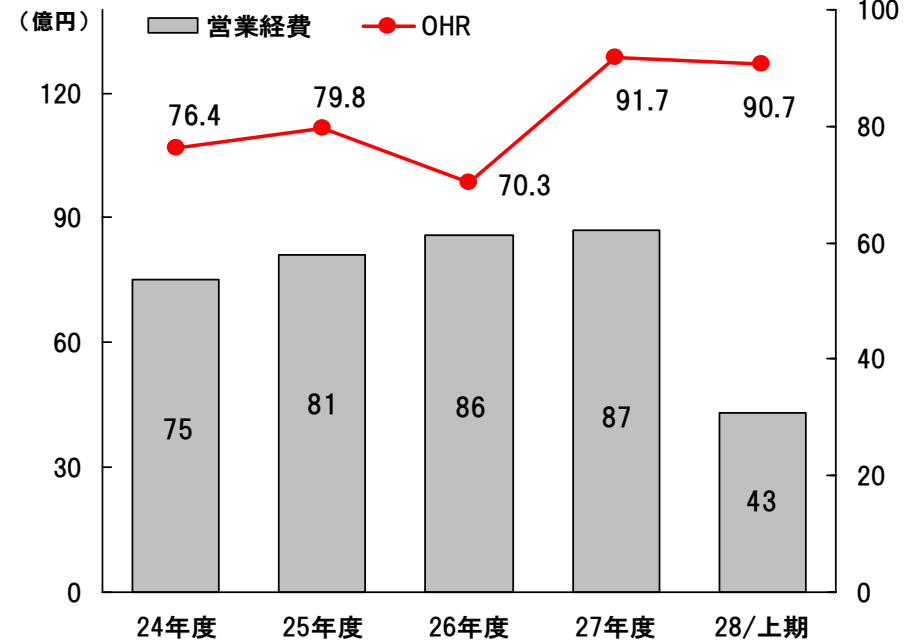
(%)



○ OHR

(億円)

(%)



ROE = 中間純利益(年換算ベース) / 純資産平残

ROA = 中間純利益(年換算ベース) / 総資産平残

OHR = 営業経費(臨時処理分除く) / 業務粗利益

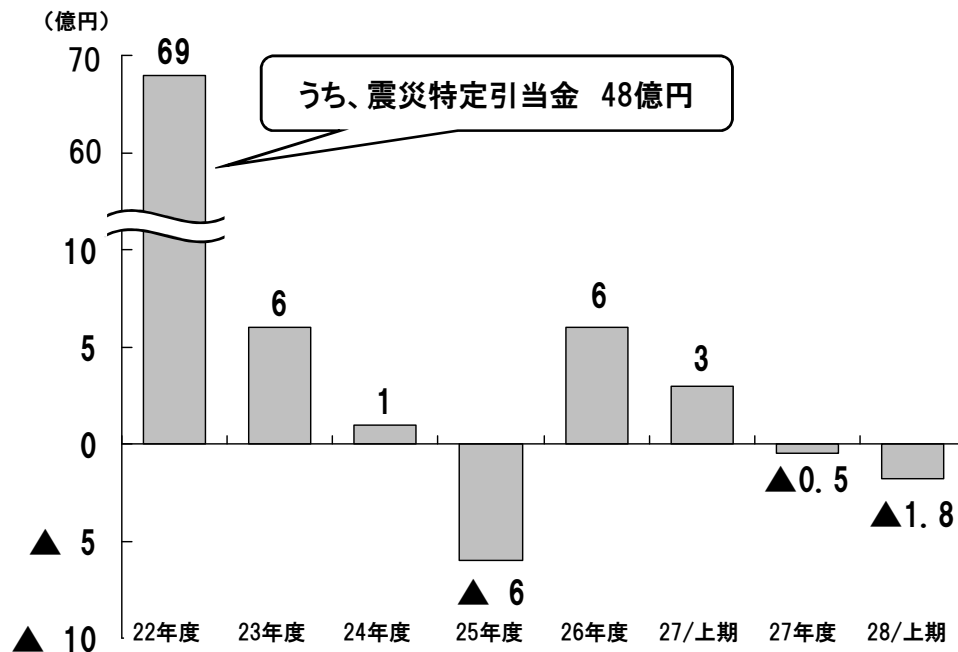
※ 平残 = (期首残高 + 期末残高) ÷ 2

※ 業務粗利益 = 業務純益(一般貸倒繰入前) + 営業経費(臨時処理分除く)

(8) 与信関連費用

○ 与信関連費用は、取引先企業の倒産が引き続き少なかったことや業況が改善したことから貸倒引当金が戻入れとなり187百万円の益超となった（前年同期比 525百万円の改善）。

○ 与信関連費用の推移



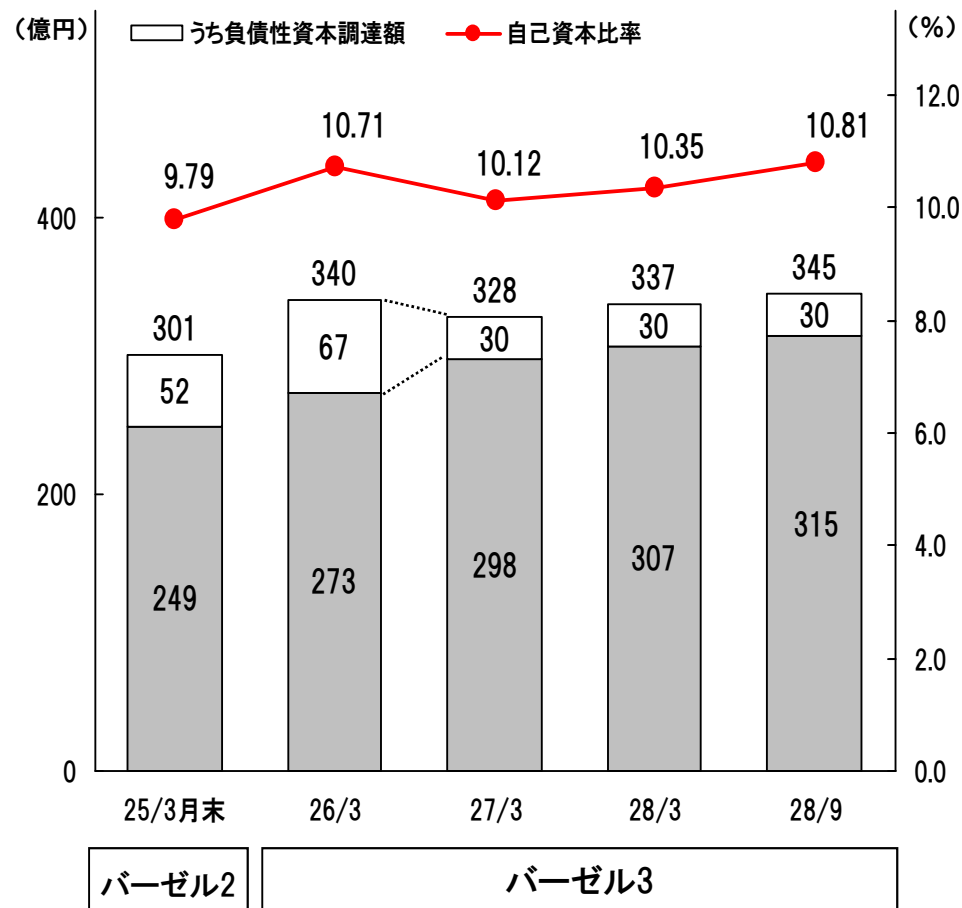
（百万円）

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27/上期	27年度	28/上期	前年同期比
与信関連費用 (①+②+③-④+⑤)	6,999	665	173	▲ 670	636	337	▲ 57	▲ 187	▲ 525
貸倒引当金繰入①	467	—	—	—	266	293	—	—	▲ 293
貸出金償却②	1,581	1,094	978	322	340	17	196	50	33
債権売却損等③	59	306	13	17	30	27	27	0	▲ 27
貸倒引当金戻入④	—	735	818	1,009	—	—	281	237	237
震災特定引当金⑤	4,890	—	—	—	—	—	—	—	—

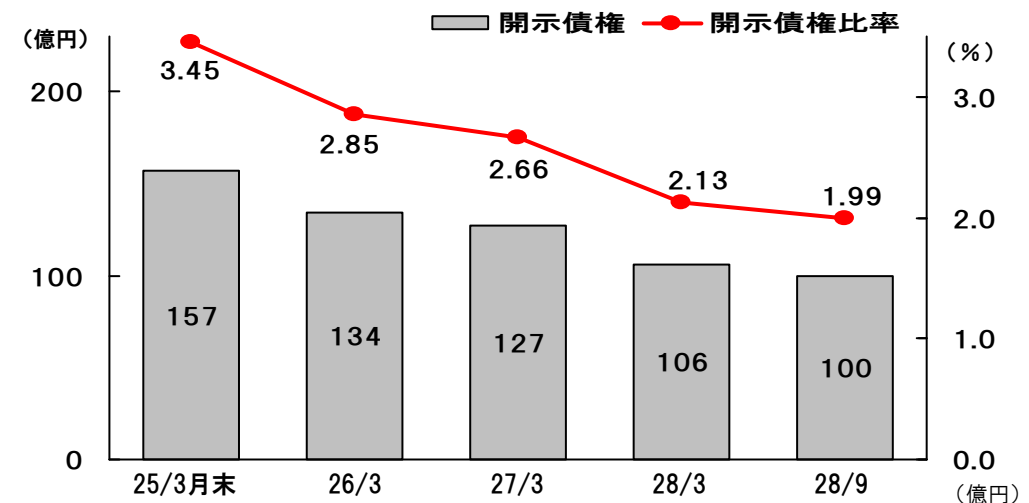
(9) 健全性

- 自己資本は、利益の積み上げにより 345億円と、28年3月末比 + 8億円増加。このため、自己資本比率も 10.81% に上昇(同+ 0.46%ポイント)。
- 金融再生法開示債権は、取引先企業の業況改善により借入金の返済が進んだことなどから、同▲ 6億円の減少。
- 金融再生法開示債権比率は 1.99%に低下し、過去最低を更新(ピークは平成14年9月末 19.6%)。

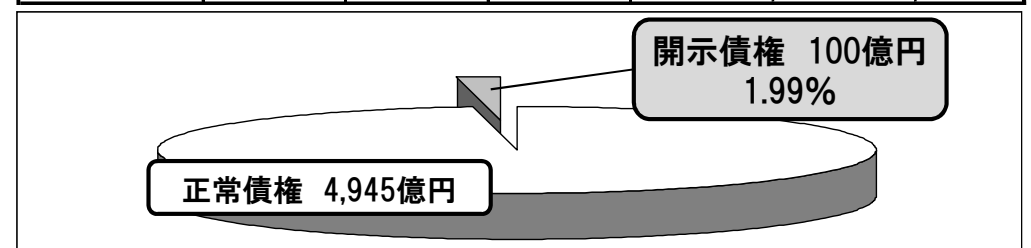
○ 自己資本・自己資本比率



○ 金融再生法開示債権



	25/3月末	26/3	27/3	28/3	28/9	3月末比
要管理債権	22	12	14	2	2	▲ 0
危険債権	76	74	75	68	64	▲ 4
破産更生等債権	59	47	37	34	34	▲ 0
合 計	157	134	127	106	100	▲ 6



(10) 主要な取り組み

① お客様をお待たせしない「クイック窓口サービス」

- お客様の貴重な時間を節約することを目的に、ほとんどの事務手続きを原則 3分で完了する「クイック窓口サービス」を 4月1日から全店でスタート。



② 相続発生時に預金の払戻しがスムーズにできる相続預金払戻しサービス「これで安心」

- 預金者が亡くなった時に、葬儀費用や入院費用等の支払いをスムーズにできるように、相続人全員の同意がなくても相続預金払戻しができるサービス『これで安心』の取り扱いを 9月12日から開始。

③ 創業支援事業

- 新たな企業を創出し、企業活動が活発に行われる福島を創るために、県内 10市の認定連携創業支援事業者として創業支援事業に注力。26年11月から県内各地で各種創業支援セミナーを延べ 79回開催し、参加者は 894名。当セミナー受講者から 24名が創業（28年9月末時点）。



④ 社会貢献への積極的な取り組み

1) イベント等

季節ごとの「10大イベント」や「生き生き健康教室」など様々なイベントを開催し、上期中の参加者は約7,000名。なかでも、4月に本店地下大ホールで1か月間開催した「春爛漫！秋山庄太郎 名作と花見山写真展」には、5,550名が来場。



2) 行員ボランティア

地域社会への貢献のため、上期中延べ 725名の役職員がボランティア活動に参加。

⑤ えるぼし企業に認定

- 女性活躍推進法に基づく女性の活躍推進に関する取り組みが評価され、認定マーク「えるぼし」＜2段階目＞を取得(9月)。



(11) 平成28年度通期(29年3月期)の決算予想

○ 平成 28年度通期(29/3月期)は、単体で当期純利益 15億円を予想。

ー ① 貸出金利の低下による貸出金利息収入減少や、② 有価証券運用の環境が厳しいことによる運用収益の減少等から当初予定の 23億円から 15億円に下方修正。

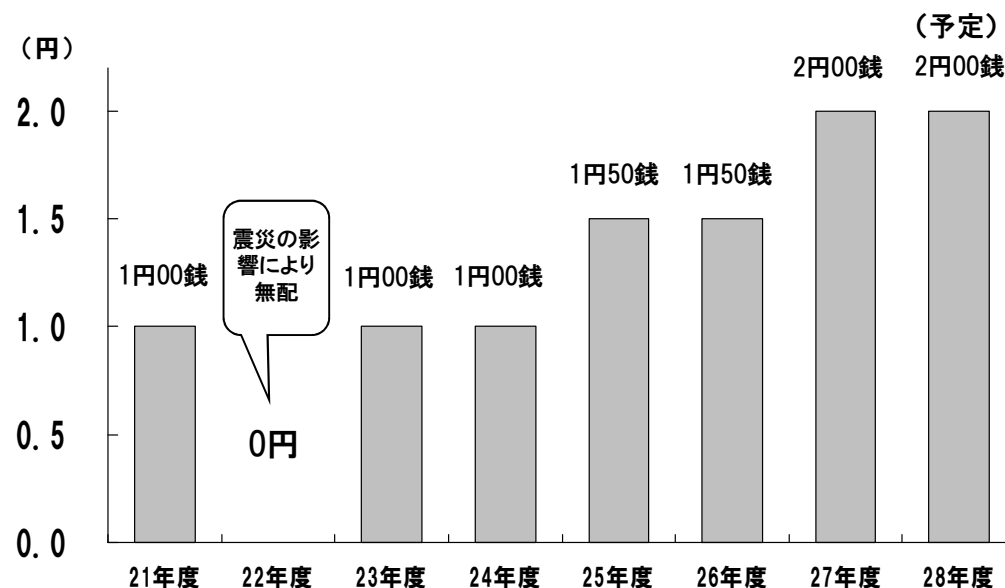
○ 平成28年度の配当は、当初予定通り 1株当たり 2円00銭とする予定。

○ 平成28年度通期(29/3月期)決算予想

(億円)

		26年度 実績	27年度 実績	28/上期 実績	28年度 予想
単 体	経 常 収 益	164	159	68	129
	経 常 利 益	44	29	11	18
	当 期 純 利 益	32	23	9	15
連 結	経 常 収 益	183	179	77	147
	経 常 利 益	46	33	12	19
	当 期 純 利 益	34	26	10	16

○ 1株当たりの配当金



(12) 当行のプロフィール

平成28年9月末

〈本社所在地〉	福島県福島市万世町2番5号
〈電話番号〉	024-525-2525(代表)
〈設立年月日〉	大正11年11月27日
〈資本金〉	181億円
〈株主数〉	14,500名
〈従業員数〉	537名
〈店舗数〉	57店舗(5出張所、3ローンプラザ、1ネット支店含む)
〈預金残高〉	7,232億円(NCDを含む)
〈預かり資産〉	857億円
〈貸出金残高〉	5,014億円
〈自己資本比率〉	10.81%(バーゼル3国内基準:単体)
〈不良債権比率〉	1.99%
〈連結子会社〉	(株)ふくぎんリース (株)福島カードサービス (株)東北バンキングシステムズ 福活ファンド投資事業有限責任組合

(お問い合わせ先) 株式会社福島銀行経営企画部 渡辺敦雄、松本崇宏 TEL: 024 (525) 2525 FAX: 024 (536) 5338

本資料には、将来の業績に係る記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより異なる可能性があることにご留意ください。